

事業者排出量削減報告書

住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）	千葉県千葉市美浜区中瀬1-5-1 大阪市福島区海老江1-1-23								
氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）	イオンリテール株式会社 取締役兼常務執行役員 西日本カンパニー支社長 伊塚義廣								
事業者の主たる業種	総合小売業								
該当する事業者要件	<input checked="" type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第1号該当事業者（大規模エネルギー使用事業者（原油に換算して1,500キロリットル以上）） <input type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第2号又は第3号該当事業者（大規模運送事業者（トラック又はバス100台以上／タクシー150台以上／鉄道車両150両以上）） <input type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第4号該当事業者（その他の温室効果ガスの大規模排出事業者（二酸化炭素に換算して3,000トン以上））								
計画期間	平成20年4月～平成23年3月								
基本方針	イオンは、顧客満足業として、お客さまに安全・安心な店舗・商品・サービスを提供を通じて、豊かなくらしと地球環境保全の両立を目指します。また、夢のある持続可能な社会の実現に貢献し、未来を担う子供たちの健やかな成長を育ててまいります。これらの活動の推進にあたっては環境マネジメントシステムを運用し、定期的に見直しを行い、継続的に改善を進めます。								
推進体制	京都府内の店舗は営業担当配下の西日本カンパニーに所属し、カンパニーでは総務部、営業企画部が中心となって各店の削減目標、実績を進捗管理しております。店舗では、店長がISO推進責任者として目標に向けた施策を具現化しております。								
	環境マネジメントシステム名称	ISO14001							
	適用範囲	イオン(株)	イオンリテール(株)	イオンスーパーセンター(株)					
	取得年月日	2000年6月28日							
年度ごとの具体的な取組及び措置の状況	年度	設備、対象、工程等	措置内容						
	20～21	照明	省エネ照明への切替・省エネチェックリストを用いた不要照明の消灯						
	20～21	空調	省エネシステムへの切替・空調の適温化（クールビズ・ウォームビズ）の実施						
	21	発電機	ガス発電機の買電への切り替え（1店舗のみ）						
温室効果ガスの排出量等	排出区分	基準年度（実績） （19）年度 （二酸化炭素換算）	目標年度（計画） （22）年度 （二酸化炭素換算）	増減率 （計画）	報告年度（実績） （21）年度 （二酸化炭素換算）	増減率 （実績）			
	A 事業所等排出区分	19,801.0 t	19,205.0 t	-3.0 %	15,976.3 t	-19.3 %			
	B 輸送車両排出区分	t	t	%	t	%			
	C その他排出区分	t	t	%	t	%			
	排出合計	*1 19,801.0 t	*2 19,205.0 t	-3.0 %	*4 15,976.3 t	-19.3 %			
実績に対する自己評価	1店舗でガス発電を買電に切り替えた事及び省エネ取組で、目標年度から19.3%の削減が達成出来ました								
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	用途区分	原単位の指標	基準年度（実績）	目標年度（計画）	増減率（計画）	報告年度（実績）	増減率（実績）		
	店舗	二酸化炭素換算 延床面積	0.102 t-CO2/m2	0.099 t-CO2/m2	-3.0 %	0.082 t-CO2/m2	-19.3 %		
		二酸化炭素換算			%		%		
		二酸化炭素換算			%		%		
実績に対する自己評価	1店舗でガス発電を買電に切り替えた事で、初年度から19.3%の削減を達成できた。								
その他の地球温暖化対策による温室効果ガスの削減量等	対策等の区分	目標年度（計画）			報告年度（実績）				
		取組量等			（二酸化炭素換算）				
	森林の保全及び整備	（整備面積）	ha	（吸収量）	t	（整備面積）	ha	（吸収量）	t
		（利用量）	m <sup>3</sup>	（削減量）	t	（利用量）	m <sup>3</sup>	（削減量）	t
	府内産の木材の利用	（売電量）	kwh	（削減量）	t	（売電量）	kwh	（削減量）	t
		（熱供給量）	GJ	（削減量）	t	（熱供給量）	GJ	（削減量）	t
	自然エネルギーを利用した電力又は熱の供給	（購入量）	kwh	（削減量）	t	（購入量）	kwh	（削減量）	t
		（削減量）	t	（削減量）	t	（削減量）	t	（削減量）	t
	グリーン電力の購入	（削減量）	t	（削減量）	t	（削減量）	t	（削減量）	t
		（削減量）	t	（削減量）	t	（削減量）	t	（削減量）	t
家庭における温室効果ガス排出量の削減効果分の購入	（削減量）	t	（削減量）	t	（削減量）	t	（削減量）	t	
	（削減量）	t	（削減量）	t	（削減量）	t	（削減量）	t	
削減量等合計	*3 t			*5 t					
差引排出量 （排出合計－削減等合計）	基準年度（実績）	目標年度（計画）	増減率（計画）	報告年度（実績）	増減率（実績）				
	*1 19,801.0 t	(12)-(13) 19,205.0 t	-3.0 %	(14)-(15) 15,976.3 t	-19.3 %				
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	・イオンでは地域の皆さまとともに店舗の敷地内に植樹活動を行っております。（財）イオン環境財団の海外での植樹活動も含む ・2010年2月現在に139,229,303本の木を植えました。 ・買物袋持参運動の取組みでは、レジ袋提供方法の見直し（無料配布中止）、マイバスケット運動、等を実施しております。 ・貴重な資源を再資源化するためにアルミ缶やペットボトル等の回収ボックスを設置し「店頭リサイクル回収」に取り組んでおります。								
特記事項									

注 1 該当する□には、レ印を記入してください。特定事業者以外の事業者の方はレ印の記入は不要です。  
 2 「基準年度」とは計画期間の前年度を、「目標年度」とは計画期間の最終年度を、「報告年度」とは計画期間のうち、今回報告の対象となる年度をいいます。  
 3 「事業所等排出区分」とは京都府内の事業所等の事業活動のためのエネルギーの使用に伴い発生する温室効果ガスを、「輸送車両排出区分」とは自動車運送事業者については使用の本拠の位置を京都府内とする車両の排出する温室効果ガスを、鉄道事業者については保有する貨物車両又は旅客車両の排出する温室効果ガスを、「その他排出区分」とは上記以外の京都府内における事業所等の事業活動に伴い発生する温室効果ガスをいいます。  
 4 「原単位当たりの温室効果ガス排出量等」の「用途区分」には、○工場、事務所などの用途を記入してください。「原単位の指標」には、分子の「二酸化炭素換算」の下に分母となる指標（生産数量、延床面積、走行距離等）を記入してください。  
 5 「その他の地球温暖化対策による温室効果ガスの削減量等」のうち「森林の保全及び整備」の「目標年度（計画）」欄には計画期間中の目標の累計を、「報告年度（実績）」欄には実績の累計を記入してください。  
 6 「特記事項」には、平成2年度（1990年度）を基準とした排出量の対比や、省エネ製品開発など他者の温室効果ガス排出削減への貢献、グリーン調達採用、特定フロンなどの条例指定外の温室効果ガスの削減などを記入してください。